

農地・水・環境保全向上対策 「みえのつどい“2009”」開催 ～『地域が元気!』を合言葉に～



三重県農地・水・環境保全向上対策協議会 真伏会長 挨拶

去る12月19日(土)午後2時より津市のメッセウイングみえにおいて、県内の農地・水・環境保全向上対策を行っている活動組織及びその関係者約540名が一同に集し、～「地域が元気!」を合言葉に～をテーマに、農地・水・環境保全向上対策「みえのつどい“2009”」が開催された。

本つどいは、平成19年度より始まった農地・水・環境保全



表彰された優秀活動組織の記念撮影

向上対策に地域ぐるみで取り組んでいる活動組織が、お互いに情報交換や意見交換を行い、農業・農村環境の質的向上を図る活動を、より一層活発に取り組むことを目的に開催した。

まず、主催者である三重県農地・水・環境保全向上対策協議会 真伏会長(三重県農水商工部長)の挨拶があり、引き続き来賓としてご臨席された東海農政局整備部農地整備課の中島課長、三重県議会議員防災農水商工常任委員会の村林副委員長から挨拶をいただいた。

その後基調講演に移り、「愛知県内における水田魚道の取り組み」と題し、愛知県農林水産部農林基盤担当農地計画課高木主任主査より講演があった。講演と併せて会場後方に実際の水田魚道の模型を展示したため、講演終了後の休憩時間等には参加者が熱心に構造等を見入り、事務局スタッフに説明を受けていた。

休憩を挟んで、優秀活動組織の表彰に移り、県内の7地域機関から推薦された16活動組織から、三重県農村地域資源保全向上委員並び主催者代表で構成される審査委員会で選考された「むらおこし・さいくわ祓川」(三重県農地・水・環境保全向上対策協議会長賞[共同活動部門])を始めとする「共同部門」から3組織、「営農部門」から1組織が優秀活動組織として表彰され、表彰後真伏会長を囲んで、壇上にて記念撮影に応じた。

引き続き、優秀活動で表彰された4組織による事例発表に移り、それぞれの発表者は、パワーポイントを駆使し、地域ぐるみで積極的に取り組んでいる活動内容や苦労話を話された。質疑応答では積極的に意見交換がなされ、参加された活動組織が地域ぐるみで取り組んでいる「熱い思い」が伝わるものがあった。

表彰活動組織

賞の名称	表彰活動組織
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会 会長賞 [共同活動部門]	むらおこし・さいくわ祓川(多気郡明和町)
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会 会長賞 [営農活動部門]	大里農村環境活動組織(南牟婁郡紀宝町)
優秀環境向上活動賞 [モデル部門]	川西保全会(伊賀市)
優秀地域ぐるみ活動賞 [パブリシティー部門]	油夫の水土里を育む会(多気郡多気町)



水田魚道の模型を見入る参加者

優秀活動組織の活動状況

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会 会長賞 [共同活動部門]

○むらおこし・さいくわ祓川(多気郡明和町)

この地域に沿って流れる祓川は、農業用水の水源であり、古くから代々の斎王が禊をした清い川で、その周囲は景観的に優れた河畦林で保全され、多様な動植物が生息する自然豊かなゾーンとなっている。

従来、ボランティア組織等により保全されてきたが、農地・水・環境保全向上対策を契機に「祓川は貴重な地域資源である」との共通認識のもと、ボランティア組織と農家・自治会等が結束し、地域が一体となって保全するようになった。

小学校との連携を図り、世代を越えた新しい活動も生まれてきた。

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会 会長賞 [営農活動部門]

○大里農村環境活動組織(南牟婁郡紀宝町)

アイガモ農法、レンゲの緑肥利用、有機肥料のみを使用した栽培など、様々な技術を駆使し、化学肥料は一切使用せず、農薬もできるだけ使用しない環境にやさしい米作りを実践している。

地域の小中学生、保育園児を対象とした農業体験学習にも取り組んでいる。

また、紀南有機農業推進協議会等と協力し、安心・安全で環境にやさしい農業の推進にも努めている。

優秀環境向上活動賞[モデル部門]

○川西保全会(伊賀市)

伊賀地域でも有数の農業地帯であり、そのほとんどでは場整備がされているが、整備後半世紀近く経過し施設の老朽化が進んでいることから、本事業において集落全体の取り組みとして、水路、農道、ため池等の維

持管理を行っている。

また、地区の水路にはシジミが多く生息していることから、その生息環境の保全として浅水代掻き、有機肥料の使用などを行い、水質保全に取り組むとともに、農道沿いにはあじさいを植栽するなど景観保全にも積極的に取り組んでいる。

優秀地域ぐるみ活動賞[パブリシティ部門]

○油夫の水土里を育む会(多気郡多気町)

農地・農業用施設の保全や維持管理などの基礎活動はもとより、池干しや水質調査、生き物観察会を積極的に行っている。こうした活動は自然環境学習の機会であるとともに、様々な地域活動へ参加するきっかけづくりにもなっている。

また、活動を通じて子供たちに自然や地域の大切さを伝えている。

発表後、三重県農村地域資源保全向上委員より表彰された活動組織に対してのコメントがあり、そして事務局である水土里ネットみえの服部会長の挨拶で閉会となった。

また、会場内には「つどい」に参加した活動組織から出展のあった活動写真パネル、のぼり、パンフレットなどの展示や、水路の目地補修材、カバープランツ、共同活動支援ソフトなどの関連商品を紹介する情報コーナーが有り、「つどい」開始前や休憩時には、多くの参加者で賑わっていた。

「つどい」終了後は、会場を移し、活動組織相互の交流を深めるため「交流会」も行われ、参加者たちは「ざっくばらん」にそれぞれの活動組織が抱える問題点や解決方法について語り合い、親交を深めていた。



県岩崎総括室長 挨拶



つどいの様子